

税制調査会企画会合（第 28 回）終了後の会長代理会見録
日 時：平成 20 年 11 月 21 日（金） 17 時 24 分～
場 所：中央合同庁舎第四号館 共用第一特別会議室

○司会

それでは、第 28 回の税制調査会企画会合後の記者会見を始めます。

本日も香西会長は体調の都合で、神野会長代理に会議の議事進行、とりまとめをお願いしておりますので、神野会長代理の方から本日の会見をさせていただきたいと思っております。

まず会長代理の方から、本日の会議について何かありましたらお願いします。

○神野会長代理

今も御説明がありましたように、会長の体調の事情によりまして、私が記者会見をさせていただきます。

本日は 15 時から 17 時まで第 28 回の企画会合を開催いたしまして、起草委員会で作成いたしました答申案について御審議をいただきました。

答申案に対して各委員から御意見を頂戴しましたが、答申の大枠の方向性については固まったと考えております。文章の表現や細部につきまして最終的に起草委員会で検討してまとめてもよいということで、起草委員会に御一任をいただいております。

起草委員会では、本日いただいた意見を踏まえて、起草委員会は担当主査で構成されておりますが、担当主査の御協力をいただきながら、また、香西会長の御指示を賜って答申案を修正し、次回は 11 月 28 日金曜日を予定しておりますが、総会を開いて最終的なとりまとめを行いたいと考えております。

あらかじめ御理解をいただきたいと思いますけれども、最終的な答申（案）が調整中という状況でございますので、私の方から発言者や個別の議論を具体的に紹介させていただくことは控えさせていただきますので、御堪忍をいただければと考えております。

○司会

それでは、質問がある方はどうぞ。

○質問

幾つかありますが、まず、基本的にいろいろと議論を傍聴させていただいて、その中で出てきた議論というものを当然踏まえてということだと思っておりますけれども、まず最初にあった指摘としては、生活対策に対して、これは時限的なものであるということをしつかりくぎを刺した方がいいという意見があったと思っておりますけれども、こういった指摘というものはそのまま含まれると考えてよろしいのでしょうか。

○神野会長代理

さっきも言いましたけれども、内容については私がこの場で申し述べることは控え

させていただきたいと思いますので、申し訳ありませんが、中身以外のことで御質問いただければと思います。

○質問

細かい中身ではなくて、例えばこういったものがテーマになっているということはいかなのでしょうか。

○神野会長代理

会合を御出席いただいてご覧になったように、今回、前回お示しした「抜本的な税制改革に向けた基本的考え方」を踏まえて議論されているわけで、それをまとめるのが答申になりますから、内容については今回出た議論をまとめたものである。勿論、先ほど申し上げましたけれども、今日新たに出たものなどについて含まれることはあり得ない話ではありませんけれども、基本的には、この税制調査会で委員が合意したものをまとめるという内容になるということです。

○質問

会長代理がとりまとめた中央環境審議会の方の答申というものもあって、ここで環境税についての考え方というものが出てきたと思うのですけれども、こういったものも今回取り込んででき上がるという理解でいいのでしょうか。

○神野会長代理

私は特に、環境税の方の委員会の主査をやっているということとは関係なく、中でいろいろ御意見が出ていますね。そういったことは当然反映されるというふうに、これは内容ですから、どう反映されるかどうかは別にして、それは当然議論がありましたということであれば、それは影響を及ぼしているというふうにお考えいただければと思います。

○質問

それに絡んで、これの中身という話なのですけれども、例えば、道路特定財源の話なんかも、今は政府でも議論されているわけなのですけれども、去年の11月の答申にも当然含まれていますね。暫定税率を維持するように入っていますけれども、こういったものに対しても踏襲していくというか、考え方というのを延長して入れていくという理解でいいのでしょうか。

○神野会長代理

それもまとめ方の内容になりますから、御容赦いただければと思います。申し訳ありません。

○質問

具体的に個別の中身は結構なのですが、09年度税制改正ということで、既に政府の方で、「中期プログラム」だとか、この前の生活対策で示された政策減税とか、ある程度09年度税制改正という名目の下に動き出しているものもあるのですが、そういうものについては当然何らかに触れる、もしくは評価する方向性を支持するとか、少なくとも

も完全に現状のそういう流れに触れないということはないというふうに考えてもよろしいのでしょうか。

○神野会長代理

これも議論になっていますね。その議論を踏まえながらまとめたというふうにしかなお答えできません。木で鼻をくくったような説明で申し訳ありませんが、ただいま作業中ですので、答申が出た段階でご覧いただければと思います。

○質問

また、繰り返しになるようで恐縮なのですが、前回、前々回で議論を受けて、会長代理の方からもいろいろ議論の中身を踏まえて、こういう方向で書きたいということで、例えば御紹介があった中で、例えば先ほどの受入体制の話とか、「中期プログラム」に対してボールを投げたいというお話があったわけなので、それを踏まえれば、そういったボールの投げかけということがあると理解してよろしいのですね。今日の議論で、全くそれが逆転したということではないのですね。

○神野会長代理

逆転したというか、今までの議論をまとめますので、その線に沿っていくということです。全く違った内容が出てくるということではありません。

○質問

それに関連してなのですが、これまでの議論であったような、例えば確認ですけれども、消費税の話とか、これについては去年の答申の中で盛り込まれているわけなのですが、これについては、既に去年の答申で踏まえた考え方を踏襲するということを既に述べられておったと思うのですが、これについては変わらないという理解でよろしいのでしょうか。

○神野会長代理

書きぶりその他は、いろいろあると思いますので、基本的な流れや何かについては、今まで御説明したとおりですけれども、これまでの会見、その他で御説明したとおりですけれども、具体的にそれをどう取扱い、特にどれをピックアップして記述するのかなどを含めて、途中経過ですというお答えしかできないので、これは御理解いただければと思います。

○質問

そうすると、何か議論があって、要するに、我々としては自然な形で、そういう形で去年示した答申を踏襲するのかなというふうに理解しているのですが、今、おっしゃったように、どういう取り上げ方なのかとか、どこをピックアップするのかということもこだわられるということは、何らかの議論があって、例えば更に踏み込むだとか、もしくは、何かこれまでの議論で、特にピックアップするような部分があるとか、そういう理解なのでしょうか。

○神野会長代理

だから、途中経過のことについては、ちょっと申し上げられないので、調整中ですから、御理解いただければと思います。

○質問

来週の予定なのですが、来週は火曜にはなくて、もう金曜日の1回のみということですか。

○神野会長代理

そうです。

○質問

その日のうちに総理に答申書を持って行く形になるのでしょうか。まだ、調整中ですか。

○神野会長代理

まだ調整中です。

○質問

昨年の答申は抜本改革に向けてということで、中期的な話も相当盛り込まれていたということなのですけれども、今年は審議時間も限られたという事情もありまして、どこまでの答申で射程圏内、あくまで来年度答申ということなのですけれども、なかなか切り離せない部分もありますものですから、どの程度の答申で射程圏内にされているか、ちょっと抽象的な質問になりますけれども。

○神野会長代理

位置づけは、あくまでも年度答申ということは、お話ししているとおりです。年度答申として出します。

○司会 それでは、これにて記者会見を終了させていただきます。

ありがとうございました。

[閉 会]